

市

民目線で5つの事業を診断 平成25年度公開事業診断

8月11日、平成25年度西尾市公開事業診断が市役所多目的室で行われました。過去2年間行ってきた事業仕分けに替わり、市民中心型の



「公開事業診断」として実施。アドバイザーに滋賀大学の石井良一教授を迎え、市民選出のコーディネーターと8人の市民診断員が5つの事業を必要性、事業主体や事業手法の見直しなどについて診断しました。会場には市民など約100人が傍聴に訪れ、診断の行方を見守っていました。診断結果については今号の5ページをご覧ください。



お

盆の夜を華やかに彩る 第65回西尾・米津の川まつり

8月15日、矢作川米津橋下流で第65回西尾・米津の川まつりが開催されました。午後7時から始まった万灯流しには大勢の方が訪れ、戦没者や水難者の



の供養に手を合わせていました。その後に行われた花火大会では、仕掛け花火やスターメインなど、色とりどりの花火が次々と打ち上げられました。夜空を華やかに彩った3,000発を超える大輪の花に、会場からは「すごい!」「きれい!」などの歓声が沸き起こり、7万人を超える観衆は酔いしれていました。



お

おいしいランチづくり&光る泥だんご作り ちびっ子サマースクール

夏休み期間中、幡豆公民館を主会場に、ちびっ子サマースクール(5講座)が行われ、小学1~4年生の子どもたちが、「つくる・まなぶ」を



テーマに、さまざまな体験活動に取り組みました。8月20日には、鶏のから揚げにチリソースとマヨネーズを絡めた「スイートチリからあげ」など、おいしいランチづくりを体験。8月22日には、さまざまな大きさの粒子の砂と水をこね、ピカピカの泥だんごを作り上げました。

手を泥で茶色にした子どもたちは、「宝物にする!」と泥だんごを夏休みの思い出とともに大切に持ち帰りました。



8/14 貝吹のかぎ万燈

昨年は雨で中止となったため、2年ぶりに「かぎ」形の炎が西尾の東の夜空に浮かび上がりました。



8/29 第35回愛知県果実品質改善共進会(いちじくの部)

横須賀ふれあいセンターで開催。いちじくの出来栄を競うため、県内の各産地から244点が出品され、5組の親子が特別審査員として「消費者特別賞」の審査を行いました。



8/31 市制60周年記念 あいち国際女性映画祭

文化会館小ホールで開催し、映画『猫と電車』を上映。監督の香西志帆さんと出演女優の藤真美穂さんが楽しいトークを繰り広げました。



9/1 市制60周年記念 洋舞フェスティバル2013



文化会館大ホールで行われ、今年で24回目。フラメンコやクラシックバレエなどの踊りが披露されました。

今月の表紙

8月25日、にしがま線特別列車「JAZZ列車で行く♪」が運行されました。この列車は、鶴城丘高等学校の生徒による模擬会社「株式会社カクジョウマーチ」が企画。乗客は、車窓から見える景色とともに同校音楽部によるジャズ演奏を楽しんでいました。

編集 雑記

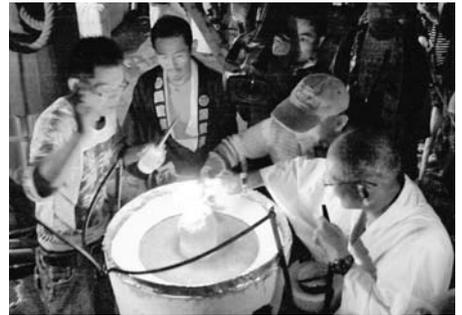
暑い夏がようやく過ぎて秋を感じる季節になりました。夏の間には西尾祇園祭をはじめ、各地域で数々のイベントが開催されました。特に印象に残ったのは、個人的には8月14日に行われた「貝吹のかぎ万燈」です。私は取材のため離れた所から写真撮影を行いました。夜空に「かぎ」がくっきりと浮かび上がり、とても感動しました。皆さんもぜひ、市内で行われるイベントに足を運んでいただければ幸いです。新しい発見があるかも知れませんよ。(新)



輝く時代絵巻 三河一色大提灯まつり



8月26日・27日の両日、一色町の諏訪神社で「三河一色大提灯まつり」が開催されました。26日は朝から6組の氏子たちが高さ12～17mある三本の大柱の上に屋根を取り付け、カグラサンと呼ばれる万力を使い、最大で長さ10m・直径5.6mもある大提灯12張を吊り上げました。午後7時から献燈祭が行われ、巨大ろうそくに火を献灯。全ての提灯に火が入り祭りはクライマックスを迎え、訪れた人たちは幻想的に浮かび上がる時代絵巻に魅了されていました。



ワイが西尾にやって来た 2013ハワイアンフェスティバル



8月26日から30日までの5日間、吉良ワイキキビーチで2013ハワイアンフェスティバルが開催されました。県内外から30チーム、総勢約800人のフラダンス愛好家が出演。華やかな衣装を身にまとい、多彩な振り付けで笑顔いっぱいにフラを踊り、南国ムードを演出していました。

夜からは、本場ハワイからやってきたポリネシア・カルチャー・センター・ダンスチームによるショーが行われました。タヒチアンダンスやサモアダンス、ファイアードダンスなど迫力あるパフォーマンスに、ビーチは大きな拍手と歓声に包まれていました。

